令和5年度

肢体不自由教育部門

高等部

第3学年

⑤学習グループ

年間指導計画

部門	肢体 (本校)	学音	7	古丝如	学年	第	3	年
教科等		于日	כן	高等部	学習グループ マップ マップ マップ マップ マップ マッチ	わ	5	+
		今の生	W 1 -	ついて理解しながら、相手	, <u> </u>		<u> </u>	
to it is								
ねらい				?表現の方法を理解し、その打 : 文化の思くな深め、この中				
+0 1/ 4/- 5		囲し、	吉莊	文化の関心を深め、その向_	1		7.0	n+ 88
担当教員		L⊏ +/L-	÷п	ule	年間授業時数	-7	"0	時間
使用教科								
+- +- *		書きな;	がら	表現の基礎力を確認する。				
主な指導 工夫	(2)難解な語句は語	辞書で	調べ	させ、言葉の意味が分かる。	と表現力が深まることを実愿	えさせる	5.	
工大	(3)家庭学習の習h	世な迫	~ ~	いけそれる				
	(3) 豕) 廷子百07百1	指導	(がらせる。		≣17	価の観	1占
月	単元(題材)名	拍等 時数		◆ねらい、◇主	な学習内容		思考	
. 7	ミュニケーションの	的奴				和畝	心气	忠反
4 ために		9	♦	表現とは何かを考える。				
・文章	章表現の基礎		•	文章表現の基礎を確認する。				
			\Diamond	ジェスチャーゲーム、他己	紹介	\circ		
			\Diamond	表記の仕方、絵を言葉にする	る	\circ		
5・声の	の表現	12	♦	分かりやすい話し方の基本	を学ぶ。			
・人と	とつながる言葉		•	人間関係を構築する言葉の	用法を知る。			
			\Diamond	発声・発音、スピーチの方法	法等		0	
			\Diamond	挨拶と人間関係、待遇表現			\circ	
6 小論ス	文 I	11	♦	論理的な文章の書き方の基準	本を学ぶ。			
			\Diamond	効果的な説明、テーマ型小詞	論文、推敲等			0
7 小論ス	文Ⅱ	5	♦	論理的な文章の書き方の基準	本を学ぶ。			
			\Diamond	効果的な説明、テーマ型小詞	論文、推敲等			0
9 面接	・社会との接点	11	♦	面接の仕方を学ぶ。				
言葉遊	遊びと創作		•	楽しみながら言葉のセンス	を磨く。			
			\Diamond	自己分析、エントリーシー	ト、模擬面接等		0	
			\Diamond	言葉遊び、川柳、二次創作	等		0	
10 プレヤ	ゼンテーション	11	♦	コミュニケーションの諸技行	術を活用する力を培う。			
			\Diamond	プレゼンテーションの技術	・実際	0		
11 小論ス	文Ⅱ	14	♦	課題文やデータを元に自分の	の考えを表現する。			
			\Diamond	要約の方法、課題文型・デ	ータ型小論文等。			0
12 話し台	合いの方法	8	♦	実践を通して目的に応じた	話し合いの方法を学ぶ。			
			\Diamond	ブレーンストーミング、デ	イベート等			0
1 メディ	ィアリテラシー	8	•	多様なメディアの特性を理解	 解し、活用する。			
			\Diamond	広告というメディアを読み、	、情報を編集する。	0		
2 言葉	を届ける	11	•	敬語、電話のかけ方、手紙	などの作法を理解する。			
			\Diamond	敬語の使用、電話の掛け方、	、手紙の書き方等の実践		0	
3 物語	を作る	5	•	手順をふんだ物語作りを通	して、表現を楽しむ。			
			\Diamond	二次表現·物語制作等			0	

	部門	肢体 (本校)	学音	ß	高等部	学年	第	3	年
	教科等名	現代文 A	•			学習グループ	•	(5)	
		(1) 様々な文章	を読む	こと	によって、我が国の言語文化	とに対する理解を深める。		<u>L</u>	
	ねらい	(2)読書に親し	み、国	語の)向上や社会生活の充実を図る	とともに説明力を身に付け	る。		
		(3)言語文化お	よび言語	葉の	特徴などの理解を深め、知識	えん おいま はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ しゅうしょ しょく はんしょ しゅう はんしょ しゅう はんしょ しゅう はんしょ しゅう			
	担当教員	張替良太				年間授業時数	10	05	時間
	使用教科書	三省堂 現代文A							
		(1) 読解におい	ては、	+-	-ワードを抽出するとともに、	言い換えや説明をさせる。			
3	主な指導の工夫	(2) 難解語句は	辞書で	調べ	、 言葉の意味がわかると理解	『が深まることを実感させる。	>		
		(3)家庭学習の ³	習慣を	身に	こつけさせる。				
	W — /E		指導		A I N	1. W 77 - L - L-	評	価の観	点
月	里兀(b	題材)名	時数		◆ねらい、◇主	な字習内容	知識	思考	態度
4	・求めるものに応	えてくれる(随	7	♦	随想の読み方を学ぶ。				
	想)			\Diamond	筆者の思考の展開を追う。			0	
				\Diamond	対義語、類義語		0		
5	・アマガエル(小詞	兑 <i>)</i>	11	♦	小説の読み方を学ぶ。				
				^	登場人物の心理の動きをたと	ごり、人間心理の普遍性を発			
				\Diamond	見する。			0	
				\Diamond	ことわざ、慣用句		\circ		
6	・眼差しを交わす	喜び(評論)	11	♦	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	段落ごとにキーワードをマー	-クさせ、段落ごとの要約文			\circ
	14 H (1844F)				を書く。				
	・境目(随想)			•	随想の読み方を学ぶ。				
	- 10/1. 1- v 41	^ /=T=A \			筆者の考えをまとめる。			0	<u> </u>
7	・モード化する社	会(評論)	12	•	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	具体例や外来語の意味に注意 み取る。	ましながら筆者の主張を読		0	
9	記号的メディア (評論)	と物理的メディア	11	•	評論の読み方を学ぶ。				
ì				\Diamond	具体例の働きを的確にとらえ いて理解を深める。	え、具体と抽象の関係につ		0	
10	・高瀬舟(小説)		11	♦	小説の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	登場人物の心境の変化をたと 発見する。	どり、人間心理の普遍性を		0	
11	・「考える葦」で	あり続ける	11	•	評論の読み方を学ぶ。				
	(評論)			\Diamond	筆者の主張と、それを支える	る根拠の役割を捉える。	0		
12	・探究する力(評論		8	♦	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	筆者の問題意識を捉え、主張	長を読み取る。	0		
1	・ミロのヴィーナ	ス(評論)	8	•	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	論理の展開や比喩的な表現の	の意図を捉える。	0		
2	・ロボットに心は	あるか(評論)	8	•	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	複数の文章を比較・分析したる。	ながら読み、考えを深め			0
3	・政治の本質(評論		5	•	評論の読み方を学ぶ。				
				\Diamond	筆者の主張をふまえて、現代 深める。	弋社会についての考え方を			0

	部門	肢体 (本校)	学部	3	高等部	学年	第	3	年
孝	枚科等名	数学 A				学習グルー	プ	(5)	
		場合の数と確率、	. 図形の	の性	質について理解させ、基	礎的な知識の資	習得と	技能の	習熟
	ねらい	を図り、事象を	数学的に	こ考	察する能力を養い、数学	のよさを認識で	できる	ように	する
		とともに、それ	らを活用	目す	る態度を育てる。				
担当	当教員	中村保				年間授業時数	7	0	時間
使月	用教科書	改訂版 新 高	校数学 /	۹ (数研出版)		•		
		(1) 各単元の	本質的理	里解	が深まるように授業内で	問題演習を適り	直入れ	る。	
主	な指導の	(2)他単元と	のつなか	がり	を考慮しながら、問題を	多角的に捉える	ること	で、主	体
	工夫	的・対話的な学							
	T	(3) ICT機器を		るこ	ことで、直感的、論理的フ	な埋解を促す。 	=:::	/T = /T	ı L
月	単元	. (題材) 名	指導		◆ねらい、◇主な学	習内容		価の観	:
		1 7/2	時数		日人の光ナナリフトナの	· ++ - - - - - - - - - - - - -	知識	思考	態度
4	場合の数	と催率	35	Ť	場合の数を求めるときの)基本的な考え			
5				·	集合		0		
7				•	集合の要素と個数			0	
9				\Diamond	和の法則・積の法則		0		
				\Diamond	順列			0	
				\Diamond	組合せ			0	
				\Diamond	問題演習				\circ
				\Diamond	事象と確率		0		
				\Diamond	確率の計算			0	
				\Diamond	独立な試行と確率			0	
				\Diamond	条件付確率			0	
				\Diamond	問題演習				0
10	図形の性	質	35	♦	平面図形や空間図形の性	質についての			
11					理解を深め、そのれを事	象の考察に活			
12					用できるようにする。				
1									
2									
3	第1節			\Diamond	図形の基本				
	分 1 即	一四凶 炒		\Diamond		,			
				~			0		
				\Diamond	三角形の外心、内心、重	也			
				\Diamond	円周角の定理			•	

1 1	1	ì		
	◇ 円に内接する四角形		0	
	◇ 円の接線	0		
	◇ 方べきの定理		0	
	◇ 2つの円		0	
	◇ 作図			0
	◇ 問題演習			0
第2節 空間図形	◇ 空間の直線、平面	0		
	◇ 正多面体			
	◇ 問題演習			0
	◇ 課題学習			0

	部門	肢体 (本校)	学部	高等部	学年	第	3	年
教	(科等名	数学B			学習グルー	プ	(5)	
ねら	っい	ベクトル、数列	について理	単解させ、基礎的な知識の	習得と技能の習	習熟を	図り、	事象
		を数学的に考察	し表現する	能力を伸ばすとともに、	それらを活用す	する態度	度を育	てる
担当	 á教員	杉浦 春久			年間授業時数	7	0	時間
使用		改訂版 新 高	校数学B	 (数研出版)		<u>I</u>		
		(1)各単元の	 本質的理解	 『が深まるように授業内で	問題演習を適宜	宣入れ	る。	
主	な指導の	 (2)他単元と	のつながり	を考慮しながら、問題を	多角的に捉える	ること	で、主	<u>:</u> 体
	工夫	的・対話的な学 ²	習を入れる	0 0				
		 (3)ICT機器を	と活用する	ことで、直感的、論理的な	な理解を促す。			
		1	指導			評	価の観	点
月	単元	. (題材)名	時数	◆ねらい、◇主な学	習内容		思考	;·····
4	ベクトル		35 ♦	 ベクトルの基本的な概念	 &について理解			
5				し、その有用性を認識す	-るとともに、			
6				事象の考察に活用できる	。 ようにする。			
7								
9								
			\Diamond	有向線分とベクトル		0		
			`	ベクトルの和、差		0		
			·	ベクトルの実数倍			\bigcirc	
				ベクトルの成分			O	
				ベクトルの内積		0		
				内積の性質		O	\bigcirc	
				位置ベクトル			0	
							0	
				ベクトルと図形			0	
				問題演習				0
				空間座標		0		
				空間ベクトル			0	
			$ \diamond $	空間ベクトルの内積			0	
			\Diamond	問題演習				0

10 11 12 1	数列	35	•	簡単な数列とその和および漸化式と数 学的な機能法について理解し、それら を事象の考察に活用できるようにす る。			
2			^	¥4. T.I			
			\Diamond	数列	0		
3			\Diamond	等差数列	0		
			\Diamond	等比数列	0		
			\Diamond	和の記号Σ	0		
			\Diamond	階差数列	0		
			\Diamond	漸化式と一般項		0	
			\Diamond	数学的帰納法		0	
			\Diamond	問題演習			0

	部門	肢体(本校)	学音	ß	高等部	学年	第	3	年
教	科等名		物	理	基礎	学習グルー	プ	(5)	
ねら	っい	(2)観察、実験な	どを行	い、	察、実験などに関する技能を 科学的に探究する力を養う。 主体的に関わり、科学的に探		態度を着	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
担当	á 教員	郭 雅文				年間授業時数	7	0	時間
使用]教科書	東京書籍 「改訂 新	「編物理	基	礎」(物基312)		!		
主	な指導の 工夫	(2) 電子媒体や写	'真等を	利月	走に計画・立案させる。 用し、視覚的に理解しやすい。 生活に関連付け興味をもてる。	-			
月	単	元(題材)名	指導 時数		◆ねらい ◇主な学習	習内容		価の観 思考・	
4	物体の運	動とエネルギーと直	5	♦	物体の運動の基本的な表した	方について理解	7 11 H120	.g. j	75.72
	線運動				する。				
				\Diamond	物体の運動とグラフ			0	
				\Diamond	等速直線運動と合成速度、		0		
5	直線運動	の世界	6	♦	運動の特徴と運動の関係につ				
				_	せ、グラフに表せることを知る。	_			
					直線運動と加速度、そのグラ	-			
	1 1 1 1 1 1 2 1	a N Eu 1	7	\Diamond	落下運動、水平投射、斜方拉		0		
6	力と運動	の法則1	7	•	落下運動、水平投射、斜方抗				
				\Diamond	ベクトルで表す方法			0	
				\Diamond	力の合成や分解		0		
7	力と運動	の法則 2	6	♦	物体にはたらく力と運動との	の関係を分析で			
					きる。 作用・反作用の法則、慣性の	カ汁別 海動の			
				$\langle \rangle$	第2法則	の広則、連割の			0
				\wedge	摩擦力、抵抗力、圧力、浮力	h			
9	仕事とて	ネルギー 1	7	~	仕事の考え方を理解し、力学				
	1270	1177 (1	,	•	の表し方について理解する。				
				\Diamond	仕事の定義、仕事の原理と代		0		
				\Diamond	運動と位置エネルギーの表し	し方		0	
10	仕事とエ	ネルギー 2	6	•	仕事と関連付けて理解を深め	め、法則を用い			
					運動を分析できる。				
1				\Diamond	エネルギー保存の法則とその	の条件	0		
	さまざま	な物理現象とエネル	2	•	原子や分子の熱運動と温度の	との関係を定性			
	ギー				的に理解する。				
				\Diamond	絶対温度、ブラウン運動と熱	热運動			0
1				\triangle	物質の三態変化、潜熱		\cap		

11	熱	4	◆ 熱現象とエネルギーを理解し、定量的に扱			
			える。			
			◇ 熱量、熱容量、比熱、熱量の保存			0
			◇ 仕事と熱の変換、熱力学第1法則	0		
			◇ 熱機関と熱効率、熱現象の不可逆性		0	
	波	3	◆ 波の基本的な性質を理解し、量的関係を扱			
			える。			
			◇ 横波と縦波の違い	0		
			◇ 波の伝わり方、波の速さ、波長、周期や振		0	
12	波	7	◆ 観察や作図から定常波について理解し、楽			
			器の原理について理解する。			
			◇ 波の独立性、重ね合わせの原理、反射			0
			◇ うなり、固有振動、共振(共鳴)	0		
1	電気 1	7	◆ 物質の電気的性質を知り、電流と磁場の力			
-			を理解する。			
			◇ 抵抗と抵抗率、導体、半導体、絶縁体	0		
			◇ 電流のエネルギーと電力、電流と磁場		0	
			◇ モーターの原理とエネルギー変換		0	
2	電気 2	4	◆ 直流と交流の違いを知り、交流の利点や利			
			用を知る。			
			◇ 直流と交流の違い			0
			◇ 交流と電磁波の利用	0		
	エネルギー	4	◆ 利用可能なエネルギーの特性や利用を理解			
			する。			
			◇ 放射線の種類と特性、影響		0	
			◇ 原子力発電の放射線、原子力の利用			0
3	物理学が拓く世界	2	◆ 生活と物理学から科学技術を理解し、未来			
			の世界に興味・関心をもつ。			
			◇様々な物理現象とエネルギー			0

	部門	肢体 (本校)	学音	祁	高等部	学年	第	3	年
教	(科等名	生物基礎				学習グルー		(5)	
32.		(1)身の回り。	の生物・	や生	物現象に関心をもつ。	, 1,		\cup	
1	ねらい				り、共通性と多様性につ	いて老える。			
1	a · y v				現力を育成する。	(()) / (0)			
tF	当教員	郭 雅文	いっしい	. 10	がりと日 ル する。	年間授業時数	-	70	時間
<u> </u>	13 秋貝 教科書			(林	東京書籍	十间汉未时奴		0	h丛[用]
(文)	刊	. 200			来示音箱 				
主	な指導の	, ,				- /+ 65 /- >7 ** -+ :	7		
	工夫				習を取り入れることで主			+ 7	
		(3)し「機备を		/ \ 1 	児覚情報によって知識が <u>だ</u>	正有しやりいよ			⊒ ⊢
月	単元	. (題材)名	指導		◆ねらい、◇主な学	習内容		価の勧	·
			時数		生物についての多様性と	・ 井沼州の知	知識	思考	態度
4	生物の特	徴	8	•		二共連性の倪			
5				_	点を身に付ける。 生命活動とエネルギーの	関係を知る			
				•	生物の特徴について。	NAMIN CVI O 0		\bigcirc	
				~	細胞にみられる多様性と共	- 涌州について		0	
				~	代謝と代謝を進める酵素		0	Ü	
					葉緑体とミトコンドリア				
				\Diamond	ルギー変換について。	1C & 2 -1		0	
6	きにスレ	そのはたらき	1.0	♦	遺伝情報を担う物質して	のDNAの特			
7	退伝丁と	そのほたりさ	16		徴を知る。				
9				♦	遺伝情報の分配について	て知る。			
				♦	遺伝情報とタンパク質の)合成について			
				\Diamond	DNAの構造について。		\circ		
				\Diamond	DNAの抽出実験。				0
				\Diamond	DNAとゲノムについて	. 0	0		
				\Diamond	遺伝物質が改名された歴	₹史。		0	
				\Diamond	細胞分裂におけるDNA	への複製と分		\cap	
					配について。			O	
				\Diamond	細胞の観察。				0
				\Diamond	DNAとタンパク質合成	戈について。	0		
				\Diamond	遺伝子の発現と生命現象	々について。		0	
10	生物の体	内環境の維持	29	♦	生物の体内環境を維持する	仕組みを知る。			
11				♦	体内環境の維持と健康と	この関係につ			
12					いて認識させる。				
				\Diamond	体内環境と体液、器官に	こついて。	0		
				\Diamond	自律神経系と内分泌系によ	る調節について	0		
				\Diamond	自律神経系の実験。				0
				\Diamond	体内環境を守るしくみに	こついて。		0	
1	生物の多	様性と生態系	17	♦	生態系の成り立ちを知る	,			
2				•	生態系の保全の重要性を認	認識させる。			
3				\Diamond	植生の多様性と遷移にて	ついて。	0		
				\Diamond	バイオームとその分布に	こついて。	0		
				\Diamond	生態系とその保全につい	いて。		0	
			<u> </u>	~	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- •	<u> </u>	$\overline{}$:

学部		高等部			学年	1.2.3	年	
教科等	等名	体育(実技)			グループ	\sim	学習グ	
ねらし	`	(1)各種の体	育活動	を通して、スポーツの楽しさ [。]	を感じ、生涯に	こわたっ	ってス	ポー
1200		ツに親しむ習慣の	の基盤を	を作る。				
				身体の調整機能を高め、健康				
			理解し、	周囲の状況、自身の状況な	どに応じて自?	分なり	に判断	fした
+D 7/ +	L =	動きをする。	-	1	<u> </u>	1 -	<u>'</u>	n+ 88
担当教		鎌形翼 上原千穂			年間授業時数	/	0	時間
使用教	以科書	「最新高等保健化		iJ級」大修朗 パラリンピック等に関連付け	たがら口骨的に	- 7 1 .º -	- ''' (T)	託ん
		, ,		ヾ゙゚゚゚ヮヮヮヮヮヮゖ 動への意欲や関心を高めてい		- ^ /\\ -	— <i>7</i> 0)	直で
主な	指導の			かい息飲や関心を同めてい 本的な過程を褒めることで、 _:		」さを	実感さ	せ、
-	工夫	生涯スポーツへの	の意識を	を高める。				
				兄が異なるため、実態に応じ	た課題やルール	レを設り	定する	0
	\\\ -	- /0=11\	指導	▲ I- >		評	価の観	点
月	単ス	E (題材)名	時数	◆ねらい、◇主な学	習内容	知識	思考	態度
4	体つくり	運動	4	◆ 身体の柔軟性について理	解し、自分の			
				身体の使い方を知る。				
				◇ ラジオ体操や選択した曲	で競技に合っ	0		
				た体操の創作。				
	n± 1 3 1 1 1							0
5	陸上競技	•	14	◆ 自己記録に挑戦したり、	111.3 - 11.53 -			
6	体育祭種	目練習		て競技に参加したりする	ことができ			
				る。				
				◇ 自己記録に挑戦する。				0
				◇ ルールを理解し、作戦を	考える。	0		
				◇ 周囲と協力して競技を行	う。		0	
7	水泳		9	▲ 重力下では難しい、自発	的な動きを引			
	3 73			◆ き出す。				
				◇ 水慣れ				0
				◇ 泳法指導		0		
				◇ リラクゼーション		0		
9	球技		12	◆ 自分が狙った場所にボー	ルを打つこと			
	「ボッチ	ヤ」		ができる。				
10				◇ 投球の種類と練習方法に	ついて。	0		
				◇ 作戦を立てる。			0	
				◇ 投球練習、レクリエーシ	ョン、両ルー			0
11	球技		10	ルを体験する。 ◆ ルールを理解し、周囲と	切同してプ			
11		サッカー」	10	▼ ルールを理解し、周囲と レーする。	励凹してノ			
12	'///	9 9 M —]		レーする。 ◇ フィールドプレイヤー・	スペシャル			
L				· シューターとしての動き		0		<u> </u>
1	武道		6	◆ 伝統文化として武道の基				
	「柔道」			る。				
					いて。	0	_	
				◇寝技体験			0	
	T-15-1-1-		1.5	◇ 道着の着衣、つかみ、投			0	
2	球技		15	◆ ボールの動きに合わせた	体幹や上肢の			
_	「卓球」			使い方を工夫する。				
3	「テニス	J		◇ 打撃練習		0		
				◇ ゴロ卓球、ゴロテニス		0		
				◇ 審判体験			0	
	•	· 「知識」 — 知識。				•		-

	部門	肢体 (本校)	学部	,	高等部	学年	第	3	年
教	科等名	音楽丨	-			学習グルー	プ	(5)	
					通して、生涯にわたり音 な表現と鑑賞の能力を伸		ふ情を [:]	育てる	0
1	ねらい	(3)音楽文化			興味、関心、理解を深め		段活動	へとつ	なげ
+=	 3当教員	る。 池上舞				左眼拉 光 吐粉			1 日日
	 用教科書	心工舞 「MOUSA 1		グポテラ		年間授業時数	3	5	時間
(史)	刊 教 付 音	_			└ やすいよう、写真や映像	で担党的に + も	2 to 11	かまい	<i>≯</i> / ₁ * / ₁
	かお送の	(1) 曲のイグ・ を取り入れる。	ーンでも	りり	ですいより、与其や吹豚	で优見りにも4	711.0	7396	'我们
土,	な指導の 工夫		の時間を	設	けて主体的に活動できる	よう促す。			
		(3)幅広いジ	ャンルの	音	楽の鑑賞、楽器の演奏体	験を通じて興味	未・関	心を広	ばる。
月	出一	· · · · (題材)名	指導		◆ねらい、◇主な学	羽齿宓	計	価の観	点
С	工 儿	. (恩彻) 石	時数		▼ねりい、◇エな子	日门台	知識	思考	態度
4	【器楽】	様々な楽器によ	7	♦	日本歌曲に親しみながら	、曲の情景や			
	る合奏、	指揮を体験す			雰囲気を感じ取る。				
5	る。			♦	合奏を通じて、テンポ、	強弱の設定な			
		日本歌曲に親し			どについての理解を深め	-			
	もう。			\Diamond	歌詞の意味を理解し、曲	由の表現につい		0	0
				^	て考える。	>>か 中			
				\Diamond	強弱記号や速度記号など				
					理解し、実際に強弱など がら演奏する。	こに気を刊りな		0	
6	【器楽・	<u></u> 鑑賞】ヨーロッ	6	•	<u>クラシック音楽を鑑賞し</u>	 ノ、歴史及び時			
	パの古典	音楽の歴史、時		·	代ごとの様式の特徴を知				
	代による	様式などの違い		\Diamond	主な作曲家と楽曲につい	ヽてその特徴な			
	を知ろう				どを知る。		0		
				\Diamond	自分の好みの音楽や興味	kをもった楽器		_	
					を見つける。			O	O
6	【器楽・	鑑賞】日本の伝	6	♦	日本の伝統的な楽器や芸	芸能について基			
		伝統楽器につい			本的な知識を身に付ける	,)			
	ての理解	を深める。		\Diamond	日本の伝統芸能の歴史や	ウ主な芸能の種			
					類を知る。				\bigcirc
				\Diamond	映像および実際の楽器に	こよる演奏を鑑			
					賞し、関心をもつ。		0		

			◇ 伝統的な楽器に直接触れて演奏する体験を行う。		0	
7	【器楽・鑑賞】様々な	7	◆ 周囲とリズムやタイミングを合わせて			
	ジャンル、民族の音楽に		演奏する。			
	親しみ、気に入った楽器		◇ 自分のやってみたい楽器を選ぶ。		\circ	
	を使って演奏しよう。		◇ 譜面を見ながら、楽器ごとに個人練習	0		0
			をする。			
			◇ タイミングやリズムを意識しながら周	\circ		
			囲と合わせる。			
9	【鑑賞・器楽】芸術鑑賞	6	◆ 芸術鑑賞会に向けて、演奏楽器や演奏			
	会に向けて		曲について事前学習する。			
			◇ 演奏楽器を鑑賞、体験する。			0
			◇ 演奏曲を鑑賞、体験する。		0	
			◇ 歴史や文化について知る。	0		

	部門	肢体	(本校)	学部	3	高等部	学年	第	3	年
教	(科等名	美術					学習グルー	- プ	(5)	
		(1)	造形的な	見点で対	寸象	や事象を捉え、造形的に	考え表現するた	りを育	む。	
1	ねらい	(2)	美的感覚	を働かせ	ţ,	対象や事象から様々なこ	とを感じ取るた	力や創	造性を	言言む。
		(3)	生活や社会	会の中の	り美	術や美術文化と関わり、	豊かな生活を創	創造す	る力を	育む。
担	当教員	八田早	甘苗				年間授業時数	7	'0	時間
使从	用教科書	なし								
<u> </u>	4. 北·	(1)	参考作品等	等の鑑賞	資を	行い、作品の良さや特徴	に気付けるよう	うにす	る。	
王	な指導のエキ	(2)	制作時間	を確保し	ノ 、	試行錯誤したり発想を広	ばたりできる。	ように	する。	
	工夫 (3)教材教具			は生徒の	り動	きや巧緻性に配慮したも	のを用意する。			
	774 —	· /8544	L) A	指導		▲ Io ≥ 1 ∧ ≥ 4.24	77 .	評	価の観	 !点
月	月 単元(題材)名			時数		◆ねらい、◇主な学	省内谷	知識	思考	態度
4	色の学習			12	♦	画面の構成と配色につい	て学ぶ。			
5					\Diamond	画面を複数の線と円で構	構成し、配色計		\circ	
						画を立て彩色する。			O	
					\Diamond	混色し、色の特性を体験	鈴的に学ぶ。	0		
6	立体造形			14	♦	動物の身体や動きを大き	く捉え、立体			
7	「動物を	つくる				作品で表現する。				
					\Diamond	動物をスケッチして、身	体の動きの中	\cap		
						心を見つける。				
					\Diamond	針金で芯を作り、粘土で	で肉付けする。		0	
9	絵画:砂	絵		16	♦	隣接する色との調和や全	全体の色調を意			
10						識しながら構図を考え出	はす力をつけ			
						る。				
					\Diamond	色砂を用いた描画。			0	
	陶芸:音	の鳴る	オブジェ		♦	基本の土鈴にオリジナル	<i>、</i> のデザインを			
						加えた作品を作り出す。				
					\Diamond	たたらや紐づくりなどの		0		
						学び、作品作りに活かし	て制作する。)		
11	絵画:生き物を描く(バ		描く(バ	10	♦	選択した生物を表現する	方法を模索			
12	チック等	の技法	を用いた			し、効果的な技法を選ん				
	描画)				\Diamond	本やネットなどから描き	たい生き物を		0	
						選択する。				

			◇ 水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてバチックの技法を用いて 生き物を表現する。		0
1	墨象:墨絵を描く	16	◆ 季節の行事を感じながら制作する。		
			◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土 の形に注目して制作する。	0	
2	デジタルアート:写真を		◆ アプリ操作を学習し、iPadでオリジナ		
3	コラージュする		ルのデザインを生み出す。		
			◇ iPadを使って、写真の素材をコラー ジュして、Tシャツやエコバッグのデ ザインをする。		0

[※] 評価の観点:「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

	部門	肢体 (本校)	学部	3	高等部	学年	第	3	年			
教	科等名	コミュニケーシ	ョン英語	吾	II	学習グルー	- プ	(5)				
		(1)既習の「「	聞く・詞	舌す	・読む・書く」の4技能	を活用し、自然	分の考	えを英	語で			
-	ねらい	発表することがで	できる。									
		(2) 英文法の原	芯用を習	習得	し、正しい英語を書いた	り話したりする	ること	ができ	る。			
		(3) 言葉の背景	景にある	る事	情や文化に触れ、日本文	化の理解も深め	める。					
担	当教員	髙橋奈穂美		年間授業時数 70 時間								
使	用教科書	ΓAII Aboard! Er	nglish (Com	ımunication II」(東京記	書籍)						
→	な指導の	(1) 英語の4寸	支能をノ	能をバランスよく使用できるように多様な教材を扱う。								
土,	な相等の 工夫	(2)視覚的教徒	的教材を活用し、生活の中で使われる英語に多く触れる。									
	工人	(3)既習の知語	哉を活力	かし	、進んだ英文法の知識を	つけ、活用でき	きるよ	うにな	こる。			
月	月 単元(題材)名				◆ねらい、◇主な学	邓内宓	評	評価の観点				
	半 九	,(越彻)石	時数		▼ねりい、▽土な子	白八台	知識	思考	態度			
通	ALTとの:	会話	5	♦	ALTとの会話を通じて、	英語運用能力						
乪				の向上と異文化理解を深	₹める。							
年				\Diamond	英語圏の文化について知]る。	\bigcirc					
				\Diamond	日本、東京について話を	きする。			0			
诵	映像鑑賞	・リスニング	10	•	英語の名作映画のセリフ	′や有名なス						
,UI	沙(沙)。		10	•	ピーチを部分的に聞き取	?る。						
年				\Diamond	聞き取りポイントを示し	、聞き取る。			0			
4	文》	去(応用)	20	♦	完了形(過去完了)・不	定詞など						
5				\Diamond	既習の文法事項をさらに	深める。	\circ					
6				\Diamond	文法事項を含む文章を読	語解する		\circ				
7												
9	文》	去(応用)	20	♦	関係詞・仮定法など							
10				\Diamond	既習の文法事項をさらに	深める。	0					
11				\Diamond	文法事項を含む文章を読	記解する		0				
12												
1	文》	去(応用)	15	♦	文法のまとめ							
2				\Diamond	既習の文法事項をさらに	深める。	0					
3				\Diamond	文法事項を含む文章を読	に解する		\circ				
<u>×</u>	<u> </u>	ラ・「午口=幹」 — 午口=幹				能度! -	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			

	部門	肢体 (本校)	学音	ß	高等部	学年	第	3	年		
教	科等名	外国語演習				学習グルー	- プ	5			
		(1) 基礎的な詞	語彙・ス	文法	を習得する。						
		(2) 4技能(聞くこ。	と、	話すこと、読むこと、書	くこと)をバ	ランス	よく使	用		
7	ねらい	し、基礎的な能力									
			こ必要を	な語	彙・文法を学習して、レ	ベルに応じた約	及に合	格する	こと		
15	3 N/ +/- E	ができる。						n+ 00			
	担当教員 小川 健					年間授業時数	7	0	時間		
使	用教科書	なし									
主	な指導の			、基礎的な内容を定着できるようにする。							
	工夫			-							
	1	(3)生徒のレ	ベルにハ	芯じ	た問題を選び、モチベー	ションの維持					
月	月 単元(題材)名 指				◆ねらい、◇主な学	習内容	習グループ ⑤ () () () () () () () () () (
, ,			時数				知識	思考	態度		
4	基礎的な	英文法、単語	25	♦	基礎文法や日常生活に身	ト近な単語を理					
5	英字新聞	字新聞			ニュースに関心をもち、	語彙力も増や					
6				\Diamond	文法や単語に関するプリ	ント学習を行	\circ				
7				\Diamond	英字新聞の内容理解、単	単語調べを行う	•	0			
9	基礎的な	英文法、単語	25	♦	基礎的な文法を確認する) _o					
10	プレゼン	テーションの		♦	プレゼンのモデルを知り	、基本的な技					
11				\Diamond	文法や単語に関するプリ	ント学習を行	0				
12				\Diamond	「TED TALK」からモデ	ルを学び、単		\circ			
1	基礎的な	英文法、単語	15	♦	文法に関するプリント学	習を行う。					
2	英検問題			♦	英語検定の頻出単語や表	長現を知る。					
3				♦	長文の内容を理解する。						
				\Diamond	文法や単語に関するプリ	ント学習を行	0				
				\Diamond	英検の過去問題(リスニ	ニング含む)		0			
				\Diamond	長文を読んで要約する。			0			
通	ALTとの	英会話	5	♦	コミュニケーションを積						
年				♦	異文化理解を深める。						
				\Diamond	簡単な会話表現				0		
				\Diamond	アメリカの文化		0				
	<u> </u>										

	部門	肢体 (本校)	学音	ß	高等部	学年	第	3	年		
教	科等名	コンピュータ実	₹技			学習グルー	プ	5			
		(1) 「社会と		Ø:	学習内容を踏まえ、コン	ピュータを実社会	会で活	用			
1	aらい	するための基礎	き的な オ	りを	付ける。						
		(2)実習、濱	資習を追	通し、	て、ICTの活用能力の	拡充を図る。					
担	当教員	高澤 昇太郎				7	時間				
使月	用教科書	なし									
		(1)個々の障	章害特性	生に	合わせてコンピュータの	設定や環境設定を	を行う	0			
	な指導の		資習を中	中心	に学習を展開し、操作知	識、技能を高めば	うれる	ように	<u>-</u> す		
	工夫	る。									
		作成する。									
月	単元	(題材)名	指導 ◆ねらい、◇主な学習内容			評価の観点					
/ 3		(/2/1) [時数				知識	思考	態度		
4	「ワープロ	コソフト」の活用	20	♦	基礎的操作を身に付ける	,) ₀					
5	「プレゼンテー		*	各機能を効果的に活用し できる。	/、文書作成が						
6				\Diamond	文字書式、拡張書式、段	是落書式、他	0				
7	ı			\Diamond	罫線と表、オブジェクト	、、他		0			
	ı			\Diamond	プレゼンテーションと応	用問題			\circ		
9	「表計算	ソフト」の活用	30	♦	基礎的操作を身に付ける	;) _o					
10				•	各機能を効果的に活用する。	⁻ ることができ					
					基本操作(書式設定、レ	·イアウト、					
11	ı				データ編集、オートフィ	ル、他					
12				\Diamond	数式と計算(計算機能、	関数)		0			
	ı			\Diamond	グラフ、オブジェクト、	他	\circ				
	ı			\Diamond	応用問題				\circ		
1	「ワープロ	コソフト」の活用	20	♦	基礎的操作を身に付ける) _o					
2	「プレゼンテー	ーションソフト」の活用		•	各機能を効果的に活用し できる。	/、文書作成が					
3				\Diamond	文字書式、拡張書式、段	设落書式、他					
	ı			\Diamond	罫線と表、オブジェクト	、、他		0			
	1			\Diamond	プレゼンテーションと応	用問題		_	\circ		

[※] 評価の観点:「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

	部門	肢体 (本校)	学部	3	高等部	学年	第	3	年	
教	科等名	産業社会と人間	<u>-</u>			学習グルー	- プ	(5)		
					人材としての、社会生活	や職業生活に必	必要な	基本的)能力	
†	a らい				、職業観を育成する。 トスねがませいしまれる	の本ルについる	ナナ宛	ナ ヮ		
ľ					とそれがもたらした社会					
			さ力や追	圭 路	について考え、その実現				時間	
	3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	小川 健		年間授業時数 35 						
使	用教科書	なし								
主	な指導の				トなどを活用し、時事的		勺に取	り上げ	げる。	
	工夫				ることで、分かり易い説					
		(3)調べ学習(の時間を	を設	定するなど、自主的な活	動ができるよう	うにす	る。		
月	単元	: (題材) 名	指導		◆ねらい、◇主な学	習内容	評	価の観	点	
/ J	+70		時数		▼1&·5 v 、 ◇ 土·& j	HI 1.H.	知識	思考	態度	
4	社会生活	の基礎	5	♦	「産業社会と人間」を学	ぶ意義と社会				
5				生活を営む上での基礎的]素養を学ぶ。					
				\Diamond	社会生活におけるルール	とマナー			0	
6	プレゼンラ	テーションの基礎	4	♦	プレゼンテーションの基	本的なやり方				
				\Diamond	モデルを知り、自分が好	さなテーマで		\bigcirc		
					プレゼンテーションの練	習を行う。		O		
7	自律と自	<u>\frac{1}{1}</u>	3	♦	自らの社会的自立や共生	社会の実現に				
					ついて考える。					
				\Diamond	社会生活を送る上での必					
					能を学ぶとともに、障害			0		
0	沙弗 北	<u> </u>	1	_	現状と課題について考え					
9	消費者教	Ħ	4	•	消費生活に関する知識を					
					な行動に結びつけること 的な能力を育む。	ができる夫戌				
				\Diamond	がな能力を自む。 新聞記事やインターネッ	ト情報をもと				
				v	に、消費者を取り巻く諸	課題について	0			
					考える。					
10	「大きな	 進路」と「小さ	7	♦	自分の将来像や生きる意	義などを考え				
11	な進路」				る。					
				\Diamond	自らの将来設計を考える	中で、自己実				
					現「大きな進路」とその	手段「小さな		0		
					進路」について考える。					
12	! 働くこと、生活すること		3	♦	生活の基盤となる「働く	」ことの意義				
					を考える。					

			◇ 家族や先輩など身近な人の働き方や生き方を知り、自分の社会参加について考える。	0		
1	社会人として	3	◆ 働くために必要なスキルについて考え			
			◇ 働くために大切な健康管理や生活につ	\circ		
2	主権者教育	4	◆ 主権者とは何か、選挙とは何かを考え			
			3.			
			◇ 選挙権獲得と選挙権行使について考える。	\circ		
3	卒業に向けて	2	◆ 卒後の進路に向けての活動。			
			◇ 高等部での生活を振り返り、自らの成		\bigcirc	
			長を確認する。		U	
			◇ 自らの到達点を確認する。			0

					-				
	部門	肢体 (本校)	学音	ß	高等部	学年	第	3	年
教	科等名	小論文				学習グルー	-プ	(5)	
		(1) 文章で適気	刃に表現	見す	る能力を養う。			-	
<i>‡</i>	aらい	(2) 思考力を位	伸ばす。						
		(3)言語感覚	を磨く。	,					
担	当教員	小畑圭輝				年間授業時数	7	0	時間
使月	用教科書	なし							
		(1)進路を見	居えた	実践	的な小論文を仕上げられ	るよう丁寧に打	指導す	る。	
主7	な指導の	(2)文章作成(の途中で	でも	適宜添削する。				
	工夫	(3) 小論文の権	構成を値	を例文の用いて丁寧に指導する。					
			指導				評	価の観	 !点
月	単元	:(題材)名	時数		◆ねらい、◇主な学	省内容	 知識	思考	態度
4	・小論文	 の基本	6	♦	小論文と作文との違いか	· 分かる。			
				\Diamond	原稿用紙の使い方、書く	ための手順、			
					文章の「型」を例題を使	らい確認する。			\circ
5	・小論文	・小論文のポイント			設問の読みと捉え方、意	気見と理由の考			
	・実践的小論文				え方、構成メモの活用				
				\Diamond	例題を使った確認、志望		0		
		^ . !		_	を読み解く。自己アピー			<u> </u>	
6	・実践的	小論文	6	•	序論、本論、結論のある実	『践的な小論文			
				\Diamond	を書くことができる。 志望理由書を書く。読み	、返す。 推敲。		0	
7	・実践的		4	·	序論、本論、結論のある実			<u> </u>	
-	J ()	3 41107	·	•	を書くことができる。	CASCES OF S HIRDS			
				\Diamond	志望理由書を仕上げる。	推敲。		0	
9	・課題文	型小論文	6	♦	課題文型小論文とは何か	١,			
				\Diamond	課題文型小論文の実践		0		
10	・課題文	型小論文	8	•	課題文型小論文とは何か	١,			
				\Diamond	課題文型小論文の実践			0	
11			8	♦	課題文型小論文とは何か	١,			
				\Diamond	課題文型小論文の実践			0	
12	2 ・データ型小論文		6	♦		``			
	2			\Diamond	データ型小論文の実践		0		
1	 └ ・データ型小論文		6	•		١,			
				\Diamond	データ型小論文の実践			0	
	1								-

2	・一年間のを振り返り、	8	◆ 一年間の学習を生かして、意見文が書		
	文章作成をする		ける。		
			◇ 800字程度の文書を作成し発表する。	0	
3	・手紙を書く	4	◆ 状況に即した手紙が書ける。		
			◇ お礼状やお見舞いなどの手紙を作成す		
			る。		

[※] 評価の観点:「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

	部門	肢体(本核	交)	学部	3	高等部	学年	第	3	年
教	(科等名	総合的な探	求のほ	寺間			学習グルー	プ	(5)	
		(1) 主体	的に半	削断し、	問	題を解決する資質や能力	を育てる。			
7	ねらい	(2)学校 ²	行事へ	\積極的	内に	取り組む態度を身に付け	る。			
		(3)伝統日	的・対	て化的な	な体	験を通して、日常生活を	豊かにする。			
担	当教員	小川 健					年間授業時数	3	55	時間
使	用教科書	なし								
\	4. 北· 兰 の	(1)ICT機	幾器を	活用し	· \	生徒が内容を理解しやすい	いようにする。			
王	な指導の	(2)学校 ²	行事σ	中心と	とな	ることを意識し、積極的	に取り組める。	ように	する。	
	工夫 (3) 伝統文化			と学ぶる	こと	で余暇活動の充実へとつ	なげる。			
	₩ —			指導		▲ do ≥ 1	33 A C	評	価の観	点
月	単元(題材)名 - 、			時数		◆ねらい、◇主な学	省內谷	知識	思考	態度
4	一人通学に向けて			12	♦	自分で調べて準備を行う	o			
5					\Diamond	調べ学習やルート確認			0	
6					♦	内容を知り、ポスターや	応援を考え			
						る。				
					\Diamond	スローガンを考えたり、	応援練習をす			
						る。				O
7	社会との	関わり方		3	♦	礼儀を守り、TPOに応じ	だ言動をと			
						る。				
					\Diamond	社会の中にあるルールや	マナーなどを			0
				_		調べる。				_
9		トレスへの対	付応	4	•	生活する中で、様々な困	難やストレス			
	方法				\Diamond	について対応を知る。 専門家の意見を聞きつつ	sOSの出し			
					~	方を知り、スクールカウ			\bigcirc	
						護教諭の役割を知る。	, c, t <u>x</u>		O	
10	墨東祭に	 向けて		9	♦	見通しをもって準備をす	 -る。			
11					\Diamond	墨東祭の内容や役割を考	だ える。		0	
12	日本の文	 化・伝統		4	•	日本の風習や伝統・文化	 (を知る。		Ü	
1		. = 1-3720			\Diamond	正月の過ごし方や食べ物		0		
2	生徒会選挙・高3送る会		숙	2	•	生徒会で役員として活動				
				_	•	る。また高等部3年生を	_			
						を考える。				

			◇ どういう学校にしたいかなど公約を考えたり、ポスターを作ったり、演説の練習をしたりする。		0	
3	防災教育	1	◆ 災害時に適切な対応をとる。			
			◇ 「東京防災」を使用して、災害知識や			
			防災アクションの知識を得る。)		

[※] 評価の観点:「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

	部門	肢体 (本校)	学部	高等部	学年	第	3	年		
教	科等名	ホームルーム活動	j)		学習グルー	- プ	(5)			
		(1)行事や一年	年間の流	れに見通しをもち活動する) 0		<u>-</u>			
1	ねらい	(2) 学年の中で	での自分	の役割が分かり主体的に行	 動する。					
		(3)学校生活 ⁻	での様々	な体験を卒業後の生活につ	っなげる。					
担	当教員	小川健 池上舞	内田麻	衣 上原千穂 志賀拓也	年間授業時数	3	55	時間		
使人	用教科書	なし			•					
÷-	4、北当の	(1) 写真や資料	料等視覚!	的支援を取り入れ、活動^	への理解を促す。					
上 /	な指導の 工夫	(2) 具体的な値	列やヒン	トレントを提示するなどして、話し合いなどの活動を						
	工大	(3)全員が楽	しんで参え	nできるように、道具や活	「動のルールを」	工夫す	る。			
	H =	- (町++) 夕	指導		²³³ 中中	評	価の観	- !点		
月	里	无(題材) 名	時数	◆ねらい、◇主な学	百円谷	知識	思考	態度		
4	卒業後の	進路	5	卒業後の生活を具体的に	こイメージして					
5	5		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	準備を行う。						
				進路実習の事前準備や学	学校調べなど		0			
					-			<u> </u>		
6	体育祭に	同けて	3	体育祭に向けて期待を高	引める。					
				体育祭の競技や応援練習	Į2					
			<		=			0		
	新入生歓	 迎会に向けて	2	 歓迎会の実施に向けて、	リーダーシッ					
			•	プをとる。						
				役割分担して準備する。	必要なことを			0		
				教員に依頼する。	/					
7	交流学習	向けて	3	外部との交流を通して新						
				会のマナールールを学。 事前・事後学習、調べき	- 0					
			<	〉			0			
9	墨東祭に	向けて	10	 行事への期待感を高め、	協力して一つ					
10			•	▶ のものを作り上げる。						
11				〉事前・事後学習						
			`	〉話し合い、準備、練習な	<u>ئ</u> ر كــــــــــــــــــــــــــــــــــــ		0			
4.0				,			0			
12	卒業制作		3	卒業の記念になるもので	と作る。					
			<	〉制作内容についての話し	」合い		0			

			◇ 制作活動、包装など		0
1	卒業遠足に向けて	3	期待感を高めて主体的に準備を進め ◆ る。		
			◇ 事前・事後学習 しおり作り、係分担 など	0	
2	卒業に向けて	6	◆ 学校生活を振り返る。		
3			◇ 振り返りやまとめ	0	
			◇ 卒業式練習など		0

部門		肢体 (本校)	学音	ß	高等部	学年		1.2.3	年			
教科等名		特設自立活動	学習グルー	- プ	(5)							
ねらい		(1)身体全体や関節の変形・拘縮を予防する。										
		(2)卒業後の生活を考えて、自分でできる取り組みを増やす。										
担当教員		小川健、内田麻	年間授業時数	7	0	時間						
使用教科書		なし										
÷ #	なお道の	(1)外部専門家と連携して指導を行う。										
	な指導の 工夫	(2)セルフス	?)セルフストレッチなど、生徒が一人でもできるような活動を取り入れる。									
	工人											
月	当元	;(題材)名	指導		◆ねらい、◇主な学	型力突	評価の観点					
			時数	▼1&7 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		日门台	知識	思考	態度			
通	自立活動		70	◆ 個々の課題に応じて、活動することが								
年				◇ 身体のストレッチ			\circ					
				◇ 座位、立位、膝立ち等の取り組み			\circ					
			◇ 歩行訓練、階段昇降、トランポリン					0				
				◇ 手指の操作性を高める活動				\circ				
				\Diamond	ボールやトランポリンを	を使った活動			0			